

## ★今からでも間に合う、土壌改善★

5月に入り田植えシーズンが始まりました。田植え後いち早く活着する事が大事ですが毎年現場を巡回しますと活着不良で初期の生育停滞の話が多いように感じます。今回はその中でリン酸・カリについて考えたいと思います。

## ★根を動かすには環境を変えよう★

いち早く根を動かす環境を作り出す事が活着不良の改善に良い影響を与えます。

表一 活着不良の症状と栽培管理の対策

水田の状態・イネの症状	発生原因	栽培管理
ガス発生の根痛み	根を出そうとしても不適な環境になっている	すぐ落水して2～3日干す
冷水の流入	地温が低くなり、動きが鈍くなり養分吸収できない	日中止水、夜間入水で地温アップ
低温による生育停滞	生育適温を下回り一時的に生育できない	天気の良い日に田植えをする
深植えになった	田植え機設定ミス	浅植えを心がける(植付3cm程度)

## ★リン酸・カリで根を動かす手助けを（調節肥のススメ）★

田植え後、活着が遅くなかなか生育が進まないのが高度化成や硫安・尿素などを施肥し生育改善を図る方が多いように思います。窒素を入れると一時的には改善されますが中干しをする頃には元肥の効き過ぎで葉が濃い色になったり、倒伏・徒長するなど生育に悪い影響を与えます。活着不良を感じたらリン酸を追肥して根を動かし出来るだけ早く活着させる事が大切です。

カスタムやマグホスなど初期から良く効くリン酸を施用する事で活着を早める事を心掛けて下さい。



ガス発生による根痛みがあった場合： カスタム20kg／反当り（田植え後落水し2～3日後に施用）

低温・低日照による生育停滞の場合： マグホス20kg／反当り（田植え後早めに水田全体に施用）

## ★肥料の豆知識★

植物が育つ為に必要な要素の内、特に重要なものを以下の3つで「肥料の三要素」といいます。

- 窒素(N)： 葉や茎を育てる働きがあります。葉菜類は多めに必要です。
- リン酸(P)： 花を咲かせ、実を实らせませます。果菜類・根菜類に多く必要です。
- カリ(K)： 根を成長させたり、光合成を盛んにするなど新陳代謝を促進します。

